

学校運営協議会 会議実施報告書

- 1 会議名 恵那南高等学校運営協議会(コミュニティー・スクール) (第1回)
- 2 開催日時 平成30年5月9日(水) 10:00~12:30
- 3 開催場所 恵那南高等学校 会議室
- 4 参加者
- | | | |
|-----|--------|--------|
| 委員 | 大塩 康彦 | 恵那市副市長 |
| | 鈴木 隆一 | 学識経験者 |
| | 度会 敏彦 | 前同窓会長 |
| | 梅村 吾三 | 同窓会役員 |
| | 成瀬 孝文 | 前PTA会長 |
| 学校側 | 林 尚志 | 校長 |
| | 安藤 和昭 | 教頭 |
| | 可児 孝志 | 生徒支援部長 |
| | 安藤 琢也 | 進路支援部長 |
| | 小島 光示 | 総合学科主任 |
| | 安藤 まどか | 書記 |

5 会議の概要(協議事項)

(1) 学校運営協議会員の委嘱 自己紹介

(2) 協議内容

- ・平成30年度学校運営の方針と重点について説明
※教育指導の重点、学校経営計画、教育課程
- ・平成30年度学校組織編成について説明
※平成30年度学校運営機構、校内分掌の方針と重点
- ・平成30年度年間行事計画について説明
- ・本校の現状について説明
- ・本校への提言

(3) その他

6 会議のまとめ

- ・学校が提示した学校運営計画等については、詳細に練られたものであるという評価を受けすべて承認された。
- ・全体として概ねよい評価をいただいた。特に、ここ数年行っている少人数による学習指導体制には、生徒の成長の跡が見えたとして高い評価をいただくことができた。今後も本校の生徒に軸足を置いた学校運営について意欲的に取り組み、積極的に広報することに重点を置いて教育活動を推進したい。

今後とも至らぬ点や行き届かない点について、ご指導ご助言を頂けるようお願いし会を閉じた。

学校運営等に関する意見	
1	<p>(第11条第1項関係) ◎対象学校の運営に関する事項</p> <p>[学校経営計画]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今の南高校はあまり地域にわかってもらえていない。学校が何を行っているかは時間と年数がかかる。少子化の中で生徒を確保しなければならぬ中、もっと南高校をわかってもらうために、学校の事を地域へ発信(P.R)する方法を今以上に検討していくとよい。 生徒自身の活動を前面に出し、生徒が広告塔になるような発信を考えるとよい。 ・遠隔地から通学する生徒が増え、保護者の学校参加への意識が低下していると感じる。 ・1名でも授業を行い、生徒の将来を大切にしている姿がうかがえる。 ・地域と学校が一緒になって何をすべきだか、難しい現状。学校から働きかけ街を誘っていかなければならない。 ・生徒に任せて行うことで、中学校時代では自主性のなかった生徒でも、リーダーシップを取れるように育つ、そういう意識づけが大切。 <p>[教育課程]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合学科というものを中学の担任が理解していない。 ・「産業社会と人間」とは具体的にどんな教科であるかわかりづらい。 ・英語の少人数教育は素晴らしい。着実に力がついていくように感じる。 <p>[学校運営機構]</p> <p>○生徒支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒たちは落ち着いている。しかし裏を返せば元気がない。社会訓練などでかわるのではないか。毎朝先生がゴミ拾いをしている、生徒もやるとよい。 ・以前行っていたような地区懇談会を行ったらどうか。 ・中学校時には見られなかった良い姿が高校に入ってから見られた。 ・学力の低い生徒をよく面倒を見ていただいている。 <p>○進路支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校からの就職先が看板となる。 ・地元企業のトップが南高校の生徒を高く評価し、優先して採用してくれているところがたくさんある。 ・生徒の気持ちが第一とあるが、親の意見は聞いているのか。 ・最南端としての工業団地にも愛知県の大企業が来ている。通勤も考えて、愛知に目を向けてはどうか。 ・専門学校、大学に進学した生徒がどこに就職したまで追跡するとよい。 ・職業によっては生涯獲得賃金が違うことを教えるとよいのではないか。
	<p>(第11条第2項関係) ◎対象学校の職員の任用に関する事項であって、学校運営に関する基本方針の実現に資するもの(特定の個人に係るものを除く。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の志を考えるためのキャリア教育をし、人間としての生き方を大人として指導をお願いしたい。 ・部活動、生徒会を中心に、地域のイベントに貢献していただき感謝している。 ・大正村に対して理解、協力があり、大変感謝している。 ・生徒の話を聴こうとする職員の姿勢がとても良い。 ・学力の低い生徒がいる。指導することは、先生たちにとって勉強になる学校である。

	◎その他	<ul style="list-style-type: none"> ・留学生を受け入れてはどうか。 ・スマートホンで観光に使えるソフトを学校で作成したらどうか。 ・総合学科の発表会は大変素晴らしかった。地域に発信するためにも、土日祝日開催、夕方以降の開催等考えてはどうか。
2	<p>(第11条第3項関係)</p> <p>◎上記の意見に対する校長の意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営計画等を具体的に提示することで現状をより深く理解していただけたことや、本校の課題について手立てを示していただくことで、新たな視点で学校運営として取り組むことができる点において、有意義な協議会であり、各ご助言をもとに工夫・改善したい。 ・県立高校の取り組みを広く広報し、地域に浸透させていくことは、並大抵なことではないが、それぞれの町村と交流を深めながら周知していく必要がある。現在各自治会長会や地域協議会等に出席し広報活動を行ったり、「恵那南だより」を各地域に回覧したりしているが、今後は子育て世代(各商工会青年部)に対して本校の教育活動をアピールしていきたい。欲を言えば地域と地域・地域と学校を繋ぐコーディネーター(教員出ない人)が必要ではないか。 ・教育活動の充実に向け、工夫・改善に努めるとともに、不登校生徒、支援を要する生徒に対して手厚い支援を継続し「どんな生徒でも育て上げる」という視点に立ち、今後の教育活動を充実させたい。